スLOg 令和Edition V2.9.4.4

RELEASE NOTE

2025/07/02 JR8PPG

フィードバック時のお願い (ML参加者向け)

- ・ 不具合は再現手順を具体的に連絡して下さい。
- ・改善要望は具体的に「こう言う文言ならわかりやすい」とか「ここがこう言う操作なら使い勝手が良い」と案を出してもらえると助かります。
- フィードバックはzlog-reiwa@cq-test.netへ

zLog令和Edition 2.9.4.x

バージョン 2.9.3.9からの修正内容です。

※前回から変更のあったページはUPDATEの表記があります

バージョン2.9.4.Xでの主な変更点

- > JARLのWebアップロード対応
- ➤ ESMモードのCWキーイング無し/PHに対応
- > 不具合修正

#745 メモリースキャン開始操作の改善(2.9.4.1)

- > メモリースキャン開始動作がわかりにくいとのことですので、改良を行いました。
- ➤ スキャンRIGを[AUTO][RIG-A][RIG-B]から選べる様にしました。
- ➤ [AUTO]は従来通り、[RIG-A][RIG-B]はスキャンすRIGをそれぞれに固定します。
- > メモリーを 6 個に増やしました。



スキャンRIGを選択

#760 CW KeyboardウインドウではIME無効にして欲しい

▶ 今さらですが、IMEを無効にしました。

#762 E-LOG2 無効フラグがONのQSOはログの行頭に"X"をつける

▶ 各QSOの無効フラグがONの場合は、出力するログの行頭に"X"を付けてチェックログとして扱われるようにします。

https://www.jarl.org/Japanese/1_Tanoshimo/1-1_Contest/checklog.html

「X」表示による方法

チェックログにしたい交信データ行の先頭に「X」(半角英字のエックス)を記載します。行の先頭に「X」を記載した交信データのみがチェックログとなります。

【例】マルチバンドで交信したが、50MHzだけでエントリーしたい。

DATE (JST) TIME BAND MODE CALLSIGN SENTNO RCVDNO X 2022-08-07 10:17 144 CW JA1RL/1 599 09M 599 16M 2022-08-07 11:22 50 CW JA1RL/1 599 09M 599 16M X 2022-08-07 12:38 144 CW JA1YRL 599 09M 599 10M 2022-08-07 14:43 50 CW 8J1HAM 599 09M 599 10M

行の先頭に「X」が記載された10:17 JSTと12:38 JSTの144MHzの交信データだけがチェックログとなります。





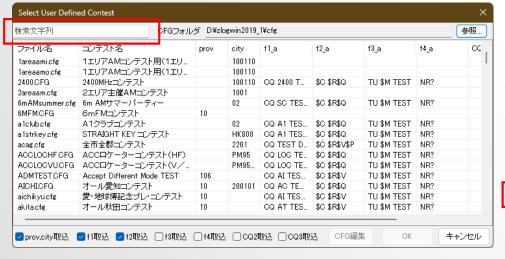
#763 #810 E-LOG2 ログのWeb提出に便利なようにする(2.9.4.4)

➤ JARL E-Logウインドウから直接Webアップロードを行うことができます。 (対応コンテストのみ)



#767 ユーザー定義コンテスト選択画面で検索したい

>ファイル名又はコンテスト名を検索(絞り込み)します。

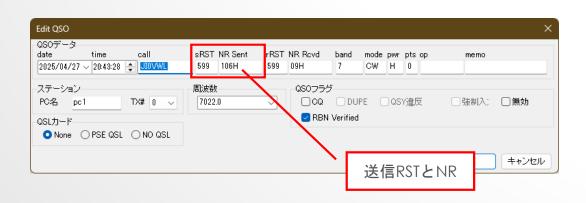




"オール"が含まれる コンテストが表示されます

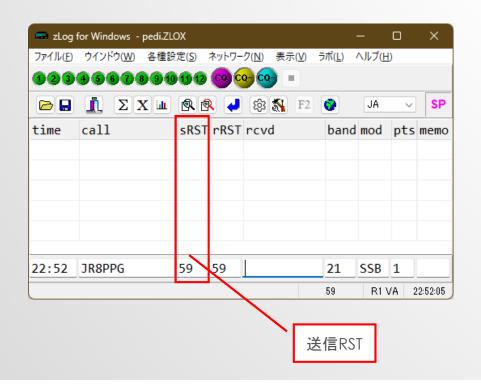
#768 QSO編集ダイアログに送信RSTが欲しい(2.9.4.1)

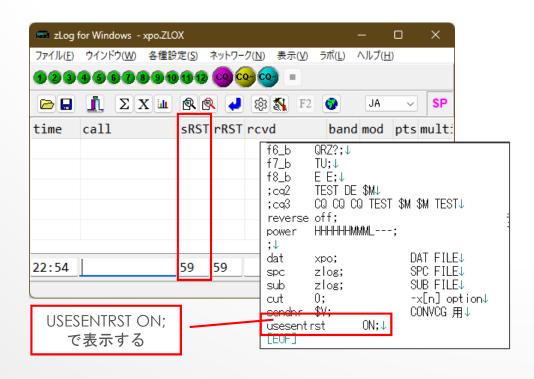
- ➤ 送信RSTを修正したいとのことですので編集ダイアログで修正可能 としました。
- ▶関連:#771交信リストの改良



#771 交信リストの改良(2.9.4.1)

- ▶ DXPediとユーザー定義コンテストの場合、交信リストにも送信RSTを表示します。
- ▶ ユーザー定義コンテストはCFGファイルに記述することで表示されます。
- ▶ 送信RST, 受信RST欄ではSHIFT+↑又は↓でRSTの"S"を変更できます。



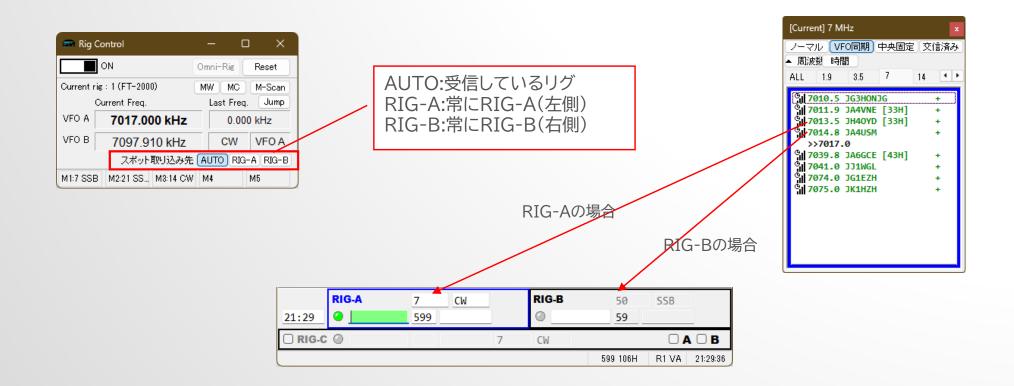


#773 CWKeyboardでRIG機能でのキーイング

- ▶ 対応が中途半端だったCWKeyboardでRIG機能を使ったキーイングが完成しました。
- ➤ RIG機能利用時は、送信の進捗表示ができないため、Enterキーを押下したタイミングでRIGに送信電文が送出されます。
- ➤ Fnに登録してある電文は、キー操作時直ちに電文がRIGに送出されます。

#782 バンドスコープからの取り込みRIGを選択する

- ▶ 2Radio時、取り込み先を選択しておくことで、選択リグに取り込みします。
- ➤ AUTO/RIG-A/RIG-Bのいずれでもスポットのバンドと同じリグがあれば、優先してそのリグに取り込みします。



#784

ESMモード: CWキーイングを行わないときも使いたい(1)

▶ CWキーイングをzLogで行わない場合もESMモードを使用可能としました。また、PH(SSB,AM,FM)でも使用可能としました。

CW (キーイングあり) 時の動作(再掲)

CQ/S&P	フォーカス位置	入力有無	Enterキー押下時の動作	備考
CQ	コールサイン	なし	F1(CQ)送信	
		あり	F2(\$C 5NN\$X)送信後、NR入力へ	TABキーと同じ
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F3(TU \$M TEST)送信とロギング	↓キーと同じ
S&P	コールサイン	なし	F7(MY CALL)送信	
		あり	F7(MY CALL)送信	DUPE時は何もしない
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F8(5NN\$X)送信とロギング	

#784

ESMモード: CWキーイングを行わないときも使いたい(2)

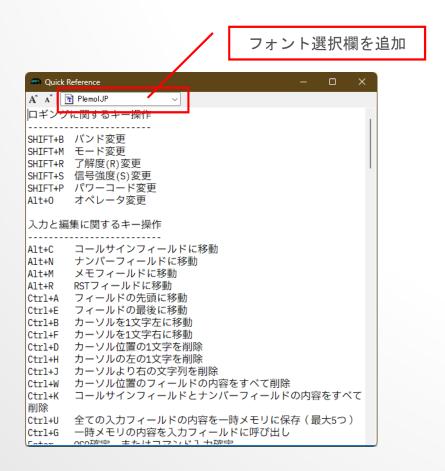
▶ CWキーイングをzLogで行わない場合もESMモードを使用可能としました。また、PH(SSB,AM,FM)でも使用可能としました。

CW(キーイングなし)、PH時の動作

CQ/S&P	フォーカス位置	入力有無	Enterキー押下時の動作	備考
CQ	コールサイン	なし	F1(CQ)送信	
		あり	CW:DUPEチェック後ナンバー入力へ PH:2番の再生後、ナンバー入力へ	TABキーと同じ
	ナンバー	なし	5番の再生	
		あり	3番の再生とロギング	↓キーと同じ
S&P	コールサイン	なし	7番の再生	
		あり	DUPEチェック後ナンバー入力へ	DUPE時は何もしない
	ナンバー	なし	5番の再生	
		あり	8番の再生とロギング	

#785 クイックリファレンスのフォント設定

▶ クイックリファレンスウインドウにフォントサイズ変更機能はあるが、フォントの変更が無かったため追加しました。



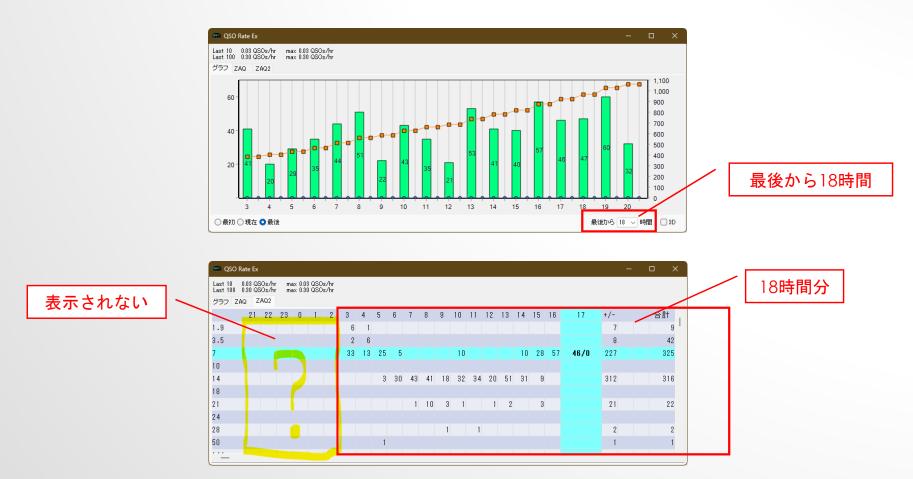
#787 WindowsXP(32bit)で起動時にアプリケーションエラー

- ➤ WindowsXP(32bit)でzLog起動時に「プロシージャエントリポイント ConvertThreadToFiberEx がダイナミックライブラリ kernel32.dll から見つかりませんでした。」のエラーが発生する。
- ▶「OK」ボタンクリック後は特に問題無く動作する。



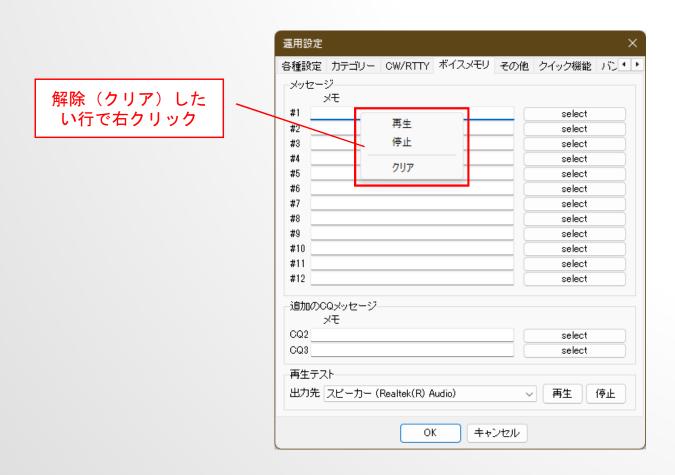
#788 ZAQ2の表示で表の表示範囲がグラフの時間数になっている

▶ QSO RateExウインドウ「ZAQ2」タブの表示で表の表示範囲が「グラフ」タブの時間数になっている。



#789 ボイスメモリ設定で、選択したVoiceファイルをクリアできない

ボイスメモリに音声ファイルを選択した後、解除(クリア)することができなかったので、右クリックメニューを追加しました。



#790 マルチオペにてOPを選択後、電力を変更してもOP別の電力が送信される

> マルチオペ運用時、OPを選択後、SHIFT+Pで電力を変更しても、 TABキー押下時はOP別の電力符号が送信される。F2キーの場合 は画面に表示されている電力符号が送信される。

再現手順

- ①マルチオペで起動
- ②OPを選択→OP別の電力符号が画面に反映される
- ③SHIFT+Pで電力符号変更
- ④コールを入力し、TABキー押下

ここを③のものに 変更しました

- ⑤ 2 番の電文が送信されるが、電力符号は②のものが送信される
- ⑥F2キー押下の場合は③のものが送信される

UPDATE

#794 #809 SHIFT+R/SHIFT+Sの動作変更(2.9.4.1)(2.9.4.4)

>SHIFT+R/SHIFT+Sの動作を降順に変更しました。

SHIFT+Sの動作

現状:599→519→529・・・

変更:599→589→579・・・

SHIFT+Rの動作

現状:599→199→199・・・

変更:599→499→399・・・

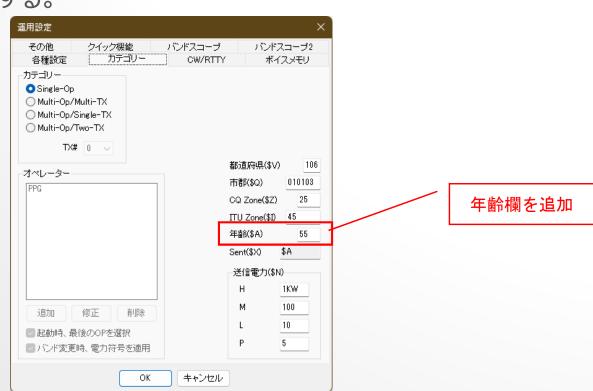
▶送信RSTにフォーカスがある場合は送信RSTの変更、送信RST以外にフォーカスがある場合は受信RSTを変更するように動作を変更しました。またRとSが同じ動きになっていたので修正しました。(2.9.4.4)

#796 シリアルNOのコンテストで過去QSOのNRが取り込まれる(2.9.4.1)

- ➤ CQWPXにてバンドスコープダブルクリックで、前回QSO(他バンド)でのシリア ルナンバーが受信NRに入ってしまう不具合を修正しました。
- ▶ 修正 1:バンドスコープにスポットが登録される際に、過去QSOのNRをマルチとして表示してしまっていた件。
- ▶ 修正 2:バンドスコープダブルクリックでQSYする際に過去QSOのNRを拾ってくる件

#800 ALL ASIAの年齢入力の改善(2.9.4.2)

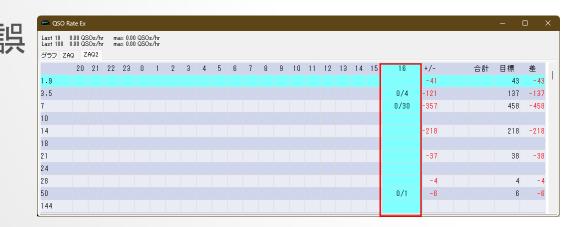
- ➤ ALL ASIAで「前回のコンテストを再開する」を選んでも年齢を入力するダイアログが毎回出てしまう。
- >「運用設定」-「カテゴリー」タブに年齢欄が無いため。
- ▶ 一方でOP別設定には年齢欄があるので、「カテゴリー」タブに年齢欄を追加して仕様の整合をとることとする。



#801 QSO RateExのZAQ2で現在時刻位置がJSTとなっている(2.9.4.2)

➤ ALL ASIAでQSO RateExを表示すると、ZAQ2で現在時刻位置がJSTとなっている。

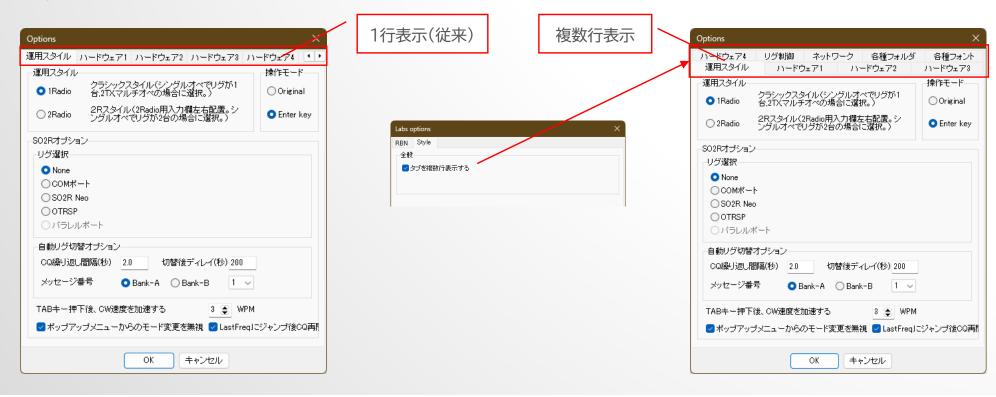
現在時刻が 16時台 (JST)の場合



Last 10 000 GSOs/hr max 000

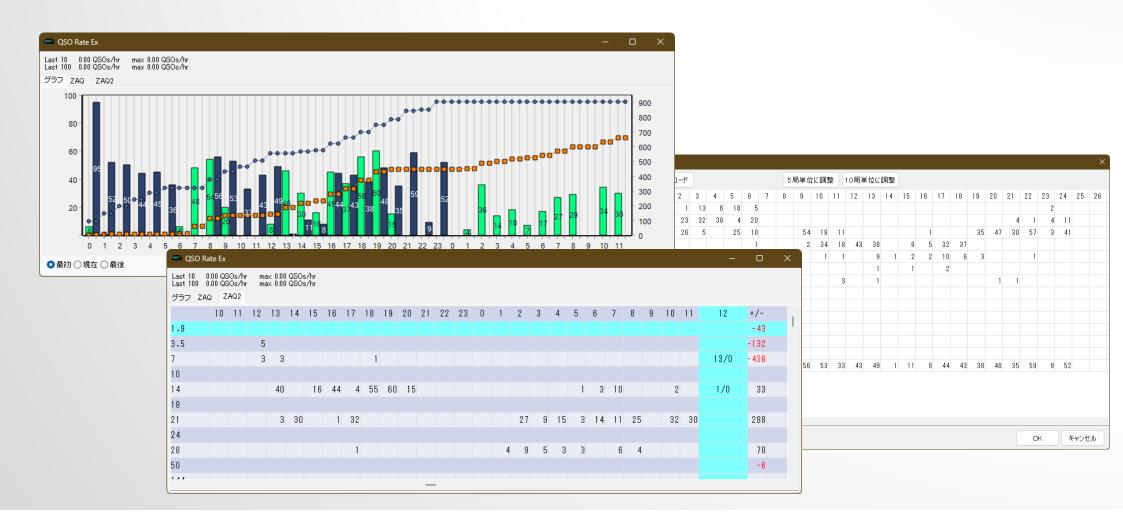
#802 オプションダイアログのタブを全部表示して欲しい(2.9.4.2)

- ▶ オプションダイアログのタブの右側が隠れており、スクロールさせないと 全体がわからないため、2段に表示されるようにしました。
- ▶「ラボ」 「Labs options」メニューの「Style」タブに設定項目を追加しました。



#803 QSO RateExを48Hコンテストに対応する (2.9.4.2)

➤ グラフ/ZAQ/ZAQ2が48Hで動作するようにしました。また目標エディタも48H 対応としました。



ALL ASIAでEntity不明となるコールをロギングするとエラーが発生する (2.9.4.3)

- ➤ CTY.DATに未登録となるプリフィックスを持つコールサインをロギングすると、「リストのインデックスが範囲を超えています」のエラーが発生する件を修正しました。
- > zLogを再起動しても変わらず。
- > ARRL DXとALL ASIAの不具合と判明しました。
- ▶ バージョン2.9以降のzLogで発生します。

BUG FIX #807 バンドスコープで交信済みスポットをダブルクリックでアプリケーションエラー (2.9.4.3)

▶ 「#782 2BSIQ: バンドスコープからの取り込みリグを固定する」の影響で、バンドスコープの交信済みスポットをダブルクリックするとアプリケーションエラーが発生する件を修正しました。

その他不具合修正一覧

- #693 CI-V Transceiveオンなのにpollingしている? (2.9.4.0)
- » #747 Glaylineで極地付近の計算不能エリアを地図に合わせて縮小(2.9.4.4)
- #759 CW Keyboardでアプリケーションエラーが発生する(2.9.4.0)
- #761 RIGへのWPM設定がおかしい (2.9.4.0)
- #766 PacketCluster: 使用していないWARCバンドのスポットが表示される(2.9.4.0)
- ▶ #772 RBNロード機能で不正データがあると読み込みが止まる(2.9.4.0)
- ▶ #774 CWのRIG送信の場合、コール欄での"."の扱いが他のI/Fと違う(2.9.4.0)
- #775 CW Keyboardで[AR]や[BK]が直ちに送信されてしまう(2.9.4.0)
- » #776 #2の電文に[BK]等を入れると最初の一文字しか送信しない(2.9.4.0)
- » #779クイック起動: ユーザー定義コンテストで一部パラメータが復帰しない(2.9.4.0)
- ▶ #780 2BSIQ: CQを開始した場合にLastFreqには開始した方のRIGしか周波数を記憶しない(2.9.4.0)
- » #781 CW: 送信電文中の@機能番号が機能しないことがある(2.9.4.0)
- #786 ZLINK: 配信されたQSOデータが欠落する件(2.9.4.0)
- > #792 2BSIQ: SO2R Neo Control PanelでRIG-B送信中なのに、RIG-Aが選択されている表示になる(2.9.4.1)
- > #793 SHIFT+Xでモードが切り替わらない(2.9.4.1)
- > #806 ALL ASIAでステータスバーにWARCバンドのマルチ情報が出る(2.9.4.3)